

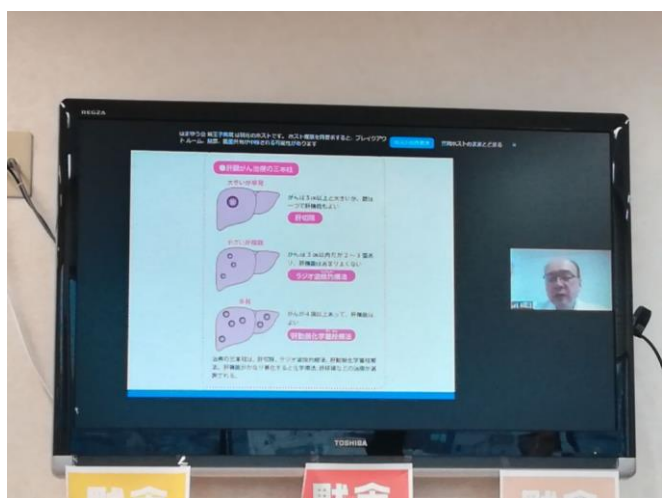
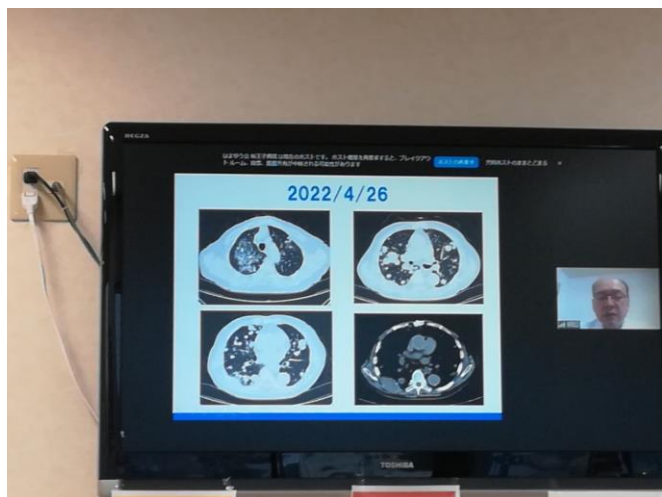
教育研修会

日時：R4 年 4 月 26 日（木） 17 時 00 分から 17 時 30 分

場所：新王子病院 4F 会議室A・食堂・HD室

症例：肝細胞癌 85 才 男性 透析歴 8 年 3 ヶ月

講師：製鉄記念八幡病院 腎センター部長 柳田太平先生



今回はC型肝炎に肝細胞癌を発症した症例でした。この患者は 15 年前に肝細胞癌発症し肝動脈化学塞栓術施行。再発繰り返すもラジオ波焼灼にて寛解維持されてきました。C型肝炎にはインターフェロンによる治療が一般的でしたが副作用が強く、現在は直接型抗ウイルス剤（DAA）が使用され、透析患者にも積極的に使用するようになり肝硬変・肝癌になる人が少なくなったとの事です。昨年 11 月の C T にて多発肺転移が判明され、近日肋骨骨転移も見付きり現在加療と緩和目的にて製鉄病院へ入院されています。現在試行錯誤で分子標的薬治療行われています。これは癌細胞にだけ効く治療で、透析患者にも使えるようになりました。15 年前に発見された癌ですが現在まで治療や定期フォローにてコントロールできていたことは明らかなエビデンスはわからないと言われていました。今回の研修で治療薬のメカニズムや副作用など学ぶことができました。